

The way is open where there is a will

～意志あるところに道は開ける～

キャリア教育部通信 第3号

令和5年5月31日

中学生のみなさんへ

キャリア教育部

つばさ総合高校では、1・2年次生が次年度の科目選択を考える時期になりました。早いと思うでしょうが、これから半年をかけて決定していきます。人生の選択の一つです。今回は、選択にあたり、生徒に伝えている内容を紹介します。

中学生のみなさんには、進路先を決定する際に参考になると思います。

伝えている内容

人生の選択に関する名言をいくつか見ていきましょう。

当たり前のことを述べていると思うのですが・・・いかがですか？

何が失敗で何が成功なのか、簡単に決められることはありません。

*人生は選択の連続である

今日は、何の服を着ようかな、お昼は何を食べようかな、友達と何を話そうかな、部活動をどうやって楽しもうかな、何のゲームをしようかな、何のYouTubeを見ようかな、課題を先にやっ飛ばしておこうかな・・・日常生活の一瞬一瞬を思い出してみてください。「選択」の連続です。

科目選択も特別なものではありません。考え方として自分の魅力・能力を高めるために選択すればよいのです。少なくとも単位が取りやすいから、良い成績が取れるからなどの安易な考えで選択してほしくないです。自分を信じて、自分を磨くために選択してほしいです。それが自分を大切にすることです。

失敗した選択などありません。 決めたら、あとは後悔などせずに進むだけです。
決断するとは「悩む」のではなく「決める」こと。どのみち、選択肢は一つだ。

*チャレンジして失敗を恐れるよりも、何もしないことを恐れる

何か挑戦しようと思ったときに、失敗する姿を想像して逃げていませんか？しかし、失敗を恐れて挑戦することから逃げているは何の経験も積めないし、力もついていきません。失敗してでも何かに挑戦したという経験があれば、その経験が次に活かされていきます。何事も実行しなければ、良い結果も悪い結果も生まれません。

何もしなくても時間は刻一刻と過ぎてしまいます。何も生まれないうままです。目標に向かって進むだけです。

人生チャレンジです。高い目標に向かって、「選択」をしましょう。

*どっちにすればいいかわからないときは、どっちにしてもうまくいく

「あの時ああしておけばよかった」と思うことがあります。でもよく考えてみるとやってみて初めて分かったことなのです。その時に何もしなければ、このような後悔もできないのです。悩んでいる間も時間は進みます。失敗しても成功してもどっちも正解なので、進んだほうがよいのです。選択の正解を決められるのは、自分だけです。成功したらそのまま進み、失敗したら修正して進めばよいのです。

*他人と比較して、他人が自分より優れていたとしても、それは恥ではない。しかし、去年の自分より今年の自分が優れていないのは大いなる恥だ。

自分の夢の実現や能力の進化に、他人と比較することはあまり意味のあることではありません。勝った・負けた、優っている・劣っていると、他人と比較して心を乱されて、夢を見失ってははいけません。向き合うべきは、自分自身の夢であり、昨日の自分より進化できているかです。

自分の持っている才能が輝きを発揮するのは、強制されたり、誰かと競ったりすることではありません。

自分の夢を最高のモチベーションにして、追求して行きましょう！

(生きていきましょう！)

1・2年次生へ

科目選択を決定するまでは、先生・友人・家族など、いろいろな人と話をしましょう。視点が違うどの話も生きていくうえで正しいのです。決められた選択などありません。その上で、自分のやりたいこと・なりたいことを基に、情報を収集し、自分で判断し、決定すればよいのです。

いかがですか？参考になりましたか。

1. 自分のやりたい・なりたいことを持つ
2. 人と関わりながら情報を収集する
3. 自分で判断する
4. あとは行動するのみ

つばさ総合高校で自分の夢に向かって、自分で時間割を作って、いろいろな人と関わって、部活動も頑張って、学校生活を送ってみませんか？普通科にはない素晴らしいスクール・ライフになると思います。学校見学等にも来て、生徒の様子も見てください。

穏やかで、心優しい生徒が多いです。